



## 護衛艦「しらぬい」八戸港入港から出港まで

八戸航空基地は、6月28日(金)から30日(日)の間、「八戸市市制施行90周年記念行事」挙行に伴い、海上自衛隊第3護衛隊群第7護衛隊所属の、大湊基地を母港とする護衛艦「しらぬい」の八戸港への出入港を支援しました。

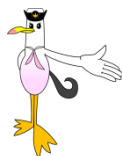
28日午前9時頃、護衛艦「しらぬい」は、八戸航空基地の隊員をはじめ、海上自衛隊護衛艦八戸入港歓迎実行委員会(会長・坂本美洋氏)、隊友会、父兄会、海上自衛隊OB会等多くの方々の出迎えのもと、遥々と八戸港(八太郎埠頭P岸壁)に入港しました。

出迎えに続いて執り行われた歓迎行事では、八戸市を代表して小林真市長が挨拶し「最新鋭の護衛艦を見られるのは市民にとって貴重な機会となる」と八戸への入港を歓迎すると、続いて挨拶した艦長の高須賀2佐からは「八戸への入港と一般公開は初めて。90周年を盛り上げる一助になれば」と感謝の言葉を述べました。

護衛艦「しらぬい」は、29日(土)及び30日(日)の2日間、艦内の一般公開を行い、延べ約4400名の方々が来場し、停泊する岸壁及び艦内は大いに賑わいました。また、30日(日)には、八戸海上保安部の巡視船「まべち」も公開されました。2日間にわたる来場者との交流を終え、30日(日)には小雨の降る中、多くの方々の見送りを受けながら八戸港を後にしました。

八戸航空基地としましても、今回の護衛艦「しらぬい」の入港が地域の皆様にとって、海上自衛隊をより身近に感じてもらえる機会になったことを心から願っています。

最新鋭の護衛艦  
「しらぬい」  
(船尾から撮影)

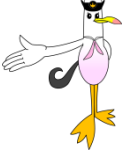




タグボートの支援をうけつつ入港してきます。



女性幹部自衛官も活躍しています。安全確認、異常ないか！



乗員が、もやい索を岸壁に投げます。岸壁では、受け取ったもやい索を持って八戸航空基地の隊員が全力で走ります。係留するための恒例作業です。



霧雨の中、たくさんの方が歓迎に訪れました。歓迎行事では、八戸市内幼稚園児による花束贈呈が行われました。



それでは一般公開のはじまりです。  
たくさんの方が訪れ、長蛇の列ができました。



小さな消防士さん、  
かっこいいぞ!!



上手に結べたね!!  
Goodjob!!



艦長席のすわり心地は  
いかが？



艦内の食堂の椅子は、普段、  
時化でも動かないように固定  
されています。



一般公開では、模擬射撃、ラッパ吹奏の実演が行われました。  
このほかにも、さまざまな装備品の展示や体験をすることができました。





護衛艦「しらぬい」は小雨の降る中、たくさんの方に見送られ、母基地の大湊に向け出港しました。